

「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

女子 × 階級社会

『女子の国はいつも内戦』
辛酸なめ子 / 著 河出書房新社

「女子の世界は、今も昔も格差社会……」中学校の女子社会は厳しい。どのグループに属するかによって学生生活が左右されてしまう。じゃあ、どんなグループに入ればいいのか？ 入り方は？ そんな疑問を解決してくれる本書。さらにそんな日本の女子中学生の世界がどのように見えていくのか。帰国子女、男子のインディビジュアルから探ります。

女子が読むと思わずうなずいてしまう内容。女子の世界の怖さが垣間見えます。(大塚)



原作本から入ってもよし、映画から入ってもよし。

第33回



原作『バスカヴィル家の犬』
コナン・ドイル / 著 東京創元社

映画『バスカヴィル家の犬』
ピーター・カッシング、
アンドレ・モレル / 出演

今回の映画はちよと古いものから選んでみました。それでも面白いのはさすがシャーロック・ホームズ。バスカヴィル家の犬が執筆されたのはあの有名なライヘンバッハの滝の一件の後ですが、ホームズの世界ではそれ以前に起こった事件です。

ホームズは、ダートムーアの名門バスカヴィル家の主治医から当主を守るように依頼されます。しかしホームズはロンドンを離れることができません。ワトソンがダートムーアへ赴き、詳細をホームズへと連絡します。果たして二人は何者かに狙われている当主を守り切れるのでしょうか？

スタッフがホラーを手掛けていた人たちなので、犬が登場するシーン等、恐怖が煽られるシーンが見どころです。(大塚)

今回は『ブレイブストーリー』です。

NDCを知って図書館を有効活用！

今回は「3」です。3は社会科学です。政治、法律、経済、社会、教育、風俗習慣、国防と社会生活に関わるさまざまなテーマを扱っています。やよい図書館では、ビジネスパーソンのためにビジネス棚と特集コーナーを設けています。ぜひ、ご利用ください。

そんな幅広い3から紹介するのは『ノーベル平和賞で世の中がわかる』という本。去年はコロナのサントス大統領が受賞しました。この本は、選挙理由から時代背景まで、とても分かりやすく書かれています。歴代の受賞者を知ることにより、平和の在り方について深く考えさせられます。(坂井)



ここでは図書館の本を分類する際に使われる「日本十進分類法」について説明します。NDCとは簡単にいうと、0〜9の10のジャンルの分類方法のことをいいます。



Vol.4
『ノーベル平和賞で世の中がわかる』
池上彰 / 編著 マガジンハウス

クイズにこたえて、図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい：お正月に食べる料理の名前は？

- ① おさち ② おせち ③ おせさ

こたえ： _____

館長が紹介する「印象に残った一文」とは？



『文字の食卓』
正木香子 / 著 本の雑誌社



「もしかしたら、文字は、同じ時代を生きている誰かがつくるものだとも思わなかったかもしれない。」

腕が良いが訳あって騎乗機会の少ないフリー騎手が主人公。そんな彼と、個性豊かな競走馬たちが織り成す競馬物語。先述した通りこのお話、登場人物も多彩で魅力的ですが、その人間に負けないくらい馬たちが個性豊かで愛着が湧きまします。そして馬たちを成長させる主人公の描写が爽快です。競馬を知らない人も読める、テンポの良い作品です。(竹原)

『ジョッキ』
松樹剛史 / 著 集英社



書体の名前を知る、というのは、道端に生えている雑草の名前を知ることと似ている気がします。知らなくても困らないけれど、知っていることで世界が一段深く広がってゆく……。そんな楽しさに気付かせてくれたのがこの本です。私達が普段目にしている文字(活字)には、こんなにたくさん種類があるということ、そしてその違いが生み出され、使われることには、たくさん人の意志が関わっているということ、そんな当たり前のことを改めて見つめる、味わい深い一冊です。(丸山)

記念日から見つける、とっておきの一冊。



「一か八か」ということわざがあります。「結果がどう出るかは分からないが、運を天に任せてやってみよう」という意味で、賭け事や勝負事の際によく使われることわざです。この言葉にちなんで1月8日は「勝負の日」。ということで、今回は勝負にまつわる本を紹介いたします。

こんな本もありますよ

『村山聖名局譜』
羽生善治 / 著 日本将棋連盟

『たたかう話』
松田哲夫 / 編 あすなる書房